

SSR ユニット 完成モジュール

【概要】

ソリッドステートリレーの完成モジュールです。入力電圧3～8Vの電圧でAC側のON/OFFができます。リレーのように音が出たりせず、0クロス動作になっていますので外部に出るノイズも少なくなっています。

【テスト前の注意】

本ユニットはAC100Vを使用しますので感電やショート、発熱の危険性がありますので基板の金属部分に触れたり金属板の上でテストすることの無いよう充分に注意してください。特にACプラグは準備ができた後最後にコンセントに差し込み、テスト終了後は先に抜いてください。

【動作確認】

出力に2A(200W)以内の通電したら動作していることがよくわかる機器を接続してください。基板を絶縁された台の上に置き、ACプラグをコンセントに差し込みます。この時点で基板上のコントロール端子以外の金属部分には絶対手を触れないでください。感電の危険性があります。

この状態でコントロール入力に3～8Vの電源を接続すると出力にAC100Vが供給され接続した機器が動作します。動作しない場合は、すぐにACプラグを抜き接続間違いがないか確認してください。出力側に2A以上の機器を接続しているとヒューズが切れますのでこの点も確認してください。

実使用においてはショートや感電の防止の意味でケースに入れてご使用ください。ケースは仮に発熱しても変形することのない金属ケースが望ましいのですがケースに固定するときはケースでショートしないよう十分な空間と固定を行ってください。プラスチック系のケースに組み込むときは発熱による変形を防ぐため必ず空気穴をあけてください。いずれにしても、感電とショート、発熱に対して十分な配慮を行ってください。

コントロール入力は直流3～8VですがLEDの代わりに本機のコントロール端子に接続することでコントロールすることができ、LEDが点灯している状態の時ONの動作となります。

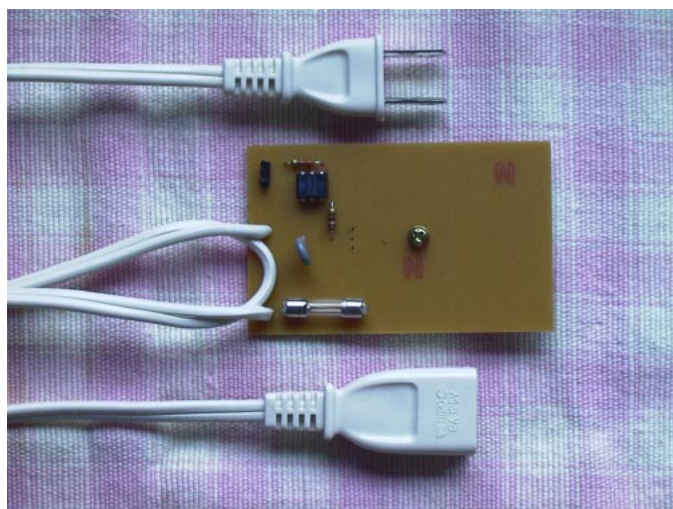
但し、LEDの点灯電圧が低い場合や、ダイナミックドライブなど特殊な点灯をさせているLEDの場合、正常なコントロールはできませんのでご注意ください。

SSRは音が出ない、ノイズが少ないなどの長所がありますが、反面、発熱がある、過負荷に弱いなどの欠点を持っています。目的に合わせて使うことで最大の効果を発揮します。

■仕様

コントロール AC100V 最大2A

入力 3～8V(12Vでご使用時には直列に1KΩの抵抗を追加することで可能です。)



+ _____